

第2 保健予防推進担当

1 健康づくり

(1) 生活習慣病予防推進事業（地域・職域連携推進事業）

ア 働く世代の健康づくり支援事業

日時及び場所	内 容	参加者
H28. 6. 3 (金) 13:30～16:30 鴻巣保健所 大会議室	働く人の健康づくり推進研修会 I 「働く人の健康づくりを推進するために」 データヘルス計画と生活習慣病予防対策の重要性 講 師 大神労働衛生コンサルタント事務所 代表 大神 あゆみ 氏 II 情報交換	事業所管理者、 健康増進担当者 等 19人
H28. 11. 28 (月) 13:30～16:30 鴻巣市立 総合体育館 会議室	減酒・禁煙サポート研修会（加須保健所共催） I 「喫煙者への禁煙支援のポイント」 ～職場や保健指導の場でできる支援～ 講 師 ファイザー株式会社 健康増進推進部 担当マネージャー 泉水 貴雄 氏 （日本禁煙学会所属 認定禁煙指導者） II 「禁煙サポーター薬局の取り組みについて」（事例提供） 講 師 行田市薬剤師会会長 （有）土橋薬局 鹿山 高彦 氏 III 「飲酒者への支援のポイント」～減酒支援の進め方～ 講 師 精神保健福祉センター 地域支援担当 藤平 百合子 氏 鴻巣保健所 保健予防推進担当 福島 裕美	市町職員 企業内診療所担 当者 事業所健康管理 部門担当者 特定保健指導従 事者 等 33人

イ 特定健診受診率向上事業

日時及び場所	内 容	参加者
H28. 11. 9(水) 10:00～12:00	地域保健連携セミナー I（川口保健所共催） I 「埼玉県におけるデータヘルス計画策定状況につ いて～個別支援をとおして～」 講 師 埼玉県国民健康保険団体連合会保健課 櫻井 一二三氏 II 「データヘルス計画を策定して ～保健部門との協働～」 事例提供 戸田市保険年金課 渡辺 理絵氏	市町職員 18人

	Ⅲワークショップ「データヘルス計画の策定と評価について」 助言者 埼玉県国民健康保険団体連合会保健課	
H28. 12. 12(木) 14:00～16:40	地域保健連携セミナーⅡ（熊谷保健所共催） Ⅰ 話題提供「データヘルス計画策定と保健事業評価を考えよう！」 事例提供者 市町の担当者 Ⅱ グループ演習「事業評価を見すえたデータヘルス計画策定を考えよう！」 助言者 生活習慣病予防研究センター 代表 岡山 明 氏 埼玉県国民健康保険団体連合会職員	管内市町職員 6人

ウ 効果的な保健指導実施支援事業

日時及び場所	内 容	参加者
H29. 2. 9(木) 14:00～16:30 上尾中央総合病院 第一会議室	生活習慣病予防対策研修会（協会けんぽ埼玉支部と共催） Ⅰ 事例発表 ・健康長寿プロジェクトの取り組みについて ～もっと歩こう もっと知ろう きたもと めざせ！毎日1万歩運動～ 講師 北本市健康づくり課 小池 智子氏 ・協会けんぽ埼玉支部での保険事業の取り組み状況 講師 協会けんぽ埼玉支部 芳賀 有子氏 Ⅱ 講義 糖尿病重症化予防について ～糖尿病重症化予防のための保健指導のポイント～ 講師 医療法人 社団愛友会 上尾中央総合病院 生活習慣病予防センター長 橋本 佳明 氏 Ⅲ 事例検討 糖尿病の重症化事例で保健指導が 上手く進まない事例	市町職員 企業内診療所 担当者 事業所健康管 理部門担当者 特定保健指導 従事者 等 26人

エ 市町村担当者会議

日時及び場所	内 容	参加者
H28. 6. 3 (金) 10:00～12:00 鴻巣保健所 中会議室	(1) 特定健診・特定保健指導の実施状況と課題 (2) 保健事業について (3) 介護予防事業について	市町保健センター、 市町国保主管課 介護保険主管課 23人

オ 健康長寿サポーター養成

日 時	対 象	参加者
H28.6.17 (金) 14:00～15:00	上尾税務署職員	50人
H28.9.27 (火) 15:00～16:00	管内調理師会、食品衛生協会、環境衛生協会	31人

(2) 受動喫煙対策事業

健康増進法の主旨に基づき、受動喫煙防止の観点から、埼玉県全面禁煙実施施設・空間分煙実施施設認証制度の認証及び周知を行った。

	合計	保健・福祉 ・医療機関	教育機関	官公庁	飲食店	その他
新規認証施設数	13	1	10	0	2	0
累積認証施設数	256	78	120	17	29	12

(3) 埼玉県・健康づくり協力店

飲食店における栄養成分表示を普及した。

新規健康づくり協力店指定数	健康づくり協力店 店舗数
0	79

2 栄養改善

(1) 食育推進事業

日時及び場所	内 容	参加者
H28.10.11(火) 14:00～16:30 エルミここのす 多目的室	食育セミナー テーマ：子どもの食事の現状と問題点 Ⅰ今どきの子どもの食事情～小児科医の視点～ 講師：北里大学メディカルセンター 副院長（小児科医）坂東由紀氏 Ⅱ今どきの子どもの食事情～管理栄養士の視点～ 講師：北里大学メディカルセンター 栄養科長 畑 五月氏	管内市町職員、 福祉・保健・教 育・医療機関職 員 64人
①H28.4.8(金) 10:00～12:00 ②H28.10.5(水) 10:00～12:00 埼玉県消防学校	若年者への早期生活習慣病予防 生活習慣病予防のための栄養管理について 講 師：鴻巣保健所栄養士	消防学校学生 ①143人 ②144人

(2) 食育推進計画策定支援事業

日時及び場所	内 容	参加者
①H28.5.16(月) 10:00～15:00 ②H28.9.15(木) 10:00～12:00 鴻巣保健所	地域の現状把握、地域診断に関する研修会 講 師：鴻巣保健所栄養士	市町食育担当者 延12名

(3) 給食施設への指導・支援

ア 台帳整備

届け出施設 特定給食施設 (その他の給食施設を含む) 合計345施設

学 校	病 院 診療所	介護老人 保健施設	老人福祉施設 その他の高齢者施設	児童福祉 施設	社会福祉 施設	事業所・ 寄宿舍等
85	22	14	69	89	13	53

イ 個別指導

指導・支援内容	指導支援件数	備 考
実地指導	35	新規施設・病院・事業所を重点
電話・メール等による指導	49	
来所指導	20	

ウ 集団指導

日時及び場所	内 容	参加者
H28.6.29(水) 13:30～16:30 鴻巣保健所	講義及び演習 高齢者施設における食中毒・感染症予防について 講師 上尾中央総合病院 感染管理課 白井 由加里 氏 北里大学メディカルセンター 感染管理室 梶ヶ谷 直子 氏	高齢者施設の 職員 70人
H28.10.31(月) 13:00～16:30 鴻巣保健所	講義及び演習 高齢者施設における食中毒・感染症予防について 講師 上尾中央総合病院 感染管理課 荒井 千恵子 氏 北里大学メディカルセンター 感染管理室 梶ヶ谷 直子 氏	高齢者入・通所 施設、障がい者 施設の職員 54人
H29.2.6(月) 14:00～16:30 鴻巣保健所	講義 高齢者の食事の現状と課題について ～配食事業からみた高齢者の食の現状と 今後について～ 講師 ワタミ株式会社 商品企画チーム 岩本 智子氏 意見交換 高齢者の食に関する課題と問題点	医療機関・高齢 介護に関わる 施設の管理栄養 士・栄養士 33人

H29. 2. 24(金) 14:00～16:30 鴻巣保健所	講義 給食施設における衛生管理について ～食中毒を防ぐには～ 講師 埼玉県鴻巣保健所 生活衛生薬事担当 小林 匠 意見交換 給食管理、栄養管理の状況について ～食物アレルギーに対する取り組み～	児童福祉施設、 幼稚園の管理 栄養士・栄養士 18人
---------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------

(4) 国民健康・栄養調査

平成28年度は、国からの指定がなかったため、実施なし

(5) 被留置者食事カロリー分析

鴻巣警察署・上尾警察署（6月、9月、12月、3月）各4回 計8回

(6) 健康増進法及び食品表示法に基づく食品表示に関する指導

健康増進法及び食品表示法に基づく食品表示に関する問い合わせ等に対し、生活衛生・薬事担当と連携をとりながら指導した。

	食品表示法関連	健康増進法関連	特定保健用食品等
指導（相談）	28	2	0
違反事例に対する 改善指導	0	1	0

(7) 栄養関係団体育成

ア 管内食生活改善推進員協議会連合会

実施日	内 容	場 所	参加者
H28. 5. 11	総会	鴻巣保健所	18人
H28. 8. 24	第1回食生活改善推進員研修会 講話 健康と食生活 ～栄養の基礎知識と最新の情報～ 講師：鴻巣保健所栄養士	鴻巣保健所	60人
H29. 2. 23	第2回食生活改善推進員研修会 講義及び実技 健康づくりのための運動 ～ラジオ体操を正しくマスターして健康に～ 講師：シンコースポーツ株式会社 健康サービスステーション岩槻店 西沢 敬二 氏	鴻巣保健所	56人

イ 各市町食生活改善推進員協議会への支援（健康長寿サポーター養成を含む）

実施日	内 容	場 所	参加者
H28. 5. 18	講義「健康づくりに取り組もう」	北本市母子健康センター	42人
H28. 12. 2	講義「健康日本21及び埼玉県健康増進計画の進捗状況と食生活改善推進員の活動のあり方」	上尾市西保健センター	8人

ウ 鴻巣保健所管内栄養コンサルタント協会への支援

実施日	内 容	場 所	参加者
年間5回	最近の健康づくりに関する情報提供、研修会		7～9人
H28. 4. 26	①生活習慣病予防について	鴻巣保健所 栄養室等	延40人
H28. 9. 20	②腸内細菌と健康について		
H28. 10. 11	③子どもの食生活について		
H29. 1. 31	④地域での栄養活動について		
H29. 3. 21	⑤食物アレルギーについて		

エ 地域活動栄養士人材育成研修会

実施日	内 容	場 所	参加者
H28. 10. 24 H28. 10. 31	①行政栄養士とは ②市町の事業についてⅠ（母子） ③市町の事業についてⅡ（成人） ④保健所事業について ⑤グループワーク	上尾市東保健センター	延84人

オ 鴻巣保健所管内調理師会への支援

実施日	内 容	場 所	参加者
H28. 9. 6	熱中症予防について 講師 大塚製薬株式会社 大宮支店 管理栄養士 松沢 玲子氏	鴻巣保健所 大会議室	27人

3 歯科保健

(1) 保健所歯科保健推進会議（歯科保健計画推進事業）

日 時 場 所	内 容	参 加 者
H28. 8. 18 北足立口 腔保健 センター	(1)北足立歯科医師会事業報告 (2)埼玉県歯科医師会からの委託事業について (3)埼玉県歯科医師会地域保健部事業について (4)保健所、市町村における歯科口腔保健事業について	北足立歯科医師会役員、 歯科衛生士、管内5市町 保健衛生主管課・高齢介護 主管課・教育委員会担当課 長及び担当者 36人

(2) 地域歯科保健連携支援事業

日 時 場 所	内 容	参 加 者
H28. 10. 13 北足立口 腔保健 センター	鴻巣保健所管内「口腔ケア研修会」 食・嚥下障害の評価と機能訓練の実際 ～最後まで口から食べることを支援するために 必要な摂食・嚥下障害の基礎を学ぶ～ 講師：東京医科歯科大学院 高齢者歯科学分野 准教授 戸原 玄 氏	歯科医師・歯科衛生士、 管内市町保健主管課・高齢 者福祉主管課、医療機関・ 介護施設職員 95人
H29. 2. 14 鴻巣保健所	口腔機能向上研修会 ・口腔ケアの重要性について ・在宅歯科医療推進窓口について ・情報交換 講師：北足立口腔保健センター 歯科衛生士 澤田まゆみ 氏 猪瀬理恵 氏	管内市町地域包括、医療機 関、高齢者施設の職員 20人

4 母子保健事業

(1) 医療給付・助成事業

未熟児養育医療、自立支援医療（育成医療）については、平成25年4月1日から市町に権限委譲された。

・不妊治療費助成件数

管内合計	鴻巣市	上尾市	桶川市	北本市	伊奈町
490	124	190	69	56	51

(2) 保健指導実施状況（延数）

	訪問	面接	電話
小児慢性	35	14	167
小児精神保健	2	26	123
その他	0	0	0
合計	37	40	290

(3) 長期療養児教室

鴻巣保健所小児在宅療養児看護職連携会議

医療依存度の高い小児在宅療養児を地域で支援している看護関係者が、在宅療養児の生活状況を理解し、同職種間での情報交換を行い、より良い支援内容につなげることを目的に実施した。

日時・場所	内容	指導者等職種	参加者数
H29. 1. 20 18:00～19:30 鴻巣保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からのメッセージ ・保健所保健師からのメッセージ ・講義 「医療ケアを必要とする児を支援するために」 ・意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内小児在宅療養児保護者 ・保健所保健師 ・看護大学教授 	48人

対象者：鴻巣保健所管内で医療依存度の高い小児の支援に関わる看護関係者

- ・管内在宅療養児が使用している訪問看護ステーション
- ・管内市町保健センター
- ・県内保健所
- ・保健所実習受け入れ看護大学

(4) ふれあい親子支援事業

育児への不安を抱える家族や虐待のリスクのある家族に対し、親支援のグループミーティングなどを実施した。

- ・ケースカンファレンス 2回 (延べ2事例)
- ・グループ 12回 (実5人、延べ25人)
- ・研修会 2回
(研修会内訳)

実施日・場所	内容	指導者等職種	参加者数
H29.1.25 鴻巣保健所	研修会 「愛着障害を理解する」	医師	18人
H29.2.15 鴻巣保健所	研修会 「効果的な支援のための面接の基礎」	臨床心理士	12人

(5) 子どもの心の健康相談事業

小児期に起こる精神保健上の問題について、小児科医・臨床心理士による専門相談を実施した。
毎月1回 (10回実施)

- ・相談件数 実 20件 延べ 22件
- ・来所者 (延べ) 本人・家族 22人

(6) 小児精神保健医療推進連絡会議

実施日	内容	参加者数	出席者
H29.1.25	・小児精神保健の相談傾向 ・小児精神保健相談事例を他機関に紹介する時の困難点 ・学校保健との連携課題について	18人	管内市町母子保健担当者

(7) 思春期 (ひきこもり) 相談

臨床心理士によるひきこもりや不登校についての専門相談を実施した。
毎月1回 (7回実施)

- ・相談件数 新規 4件 継続 5件 合計 9件
- ・来所者 (延べ) 本人・家族 9人

(8) 母子保健連携調整会議

実施日	内容	参加者数	出席者
H28.12.8	「小児在宅療養児における災害時支援を考える」 ・保健所からの情報提供 ・DVD上映 ・講義	44人	管内市町母子保健担当者、訪問看護ステーション、特別支援学校、県内保健所、県医療整備課等
H29.2.2	「各市町からの情報提供・情報交換」 ・災害時の医療機器使用者への支援について ・子育て世代包括支援センターの進捗状況について	13人	管内市町母子保健担当者

5 難病対策

(1) 指定難病等医療給付事業

ア 指定難病医療給付受給者状況

「難病の患者に対する医療等に関する法律（平成26年法律第50号）」が制定され、「指定難病」として306疾病が医療給付の対象となっている。また、県単独疾患として、4疾患が対象となっている。

なお、今後国の指定難病の新たな指定により、疾患の追加・変更が見込まれている。

(市町別)

平成29年3月31日現在

管内合計	鴻巣市	上尾市	桶川市	北本市	伊奈町
3,691	847	1,538	524	479	303

イ 先天性血液凝固因子欠乏症等医療給付受給者状況

(市町別)

平成29年3月31日現在

管内合計	鴻巣市	上尾市	桶川市	北本市	伊奈町
15	2	7	3	2	1

ウ 小児慢性特定疾病医療費助成受給者状況

(市町別)

平成29年3月31日現在

管内合計	鴻巣市	上尾市	桶川市	北本市	伊奈町
574	122	260	70	66	56

(疾患別)

疾病番号	疾患名	管内合計	疾病番号	疾患名	管内合計
01	悪性新生物	68	08	先天性代謝異常	19
02	慢性腎疾患	40	09	血友病等血液疾患	10
03	慢性呼吸器疾患	22	10	免疫疾患	5
04	慢性心疾患	149	11	神経・筋疾患	35
05	内分泌疾患	114	12	慢性消化器疾患	37
06	膠原病	23	13	染色体又は遺伝子に変化を伴う疾患群	14
07	糖尿病	35	14	皮膚疾患	3

*平成28年度末統計（健康長寿課提供より）

(2) 在宅難病患者支援事業

ア 訪問相談員育成事業

日時	場所	内容	参加者	人数
H28.11.22	鴻巣保健所	研修会「在宅人工呼吸器使用者への災害時支援について～災害時に備え個別支援計画を立ててみよう～」 講師 東京都医学総合研究所 難病医療専門員 小川 一枝氏	医療・介護福祉関連職員、市担当者等	63人

イ 医療相談事業

日時	場所	内容	参加者	人数
H28.6.9	鴻巣保健所	研修会「知っておきたい口腔ケア ～歯とお口の健康のために～」 講義及び実技 北足立口腔保健センター 歯科衛生士 大木 昌美氏、戸野塚 薫氏	神経難病患者 家族	42人
H29.2.15	鴻巣保健所	講演会「摂食・嚥下障害の基礎知識」 講義「摂食・嚥下のしくみと安全に食事介助を行うためのポイント」 講師 上尾中央総合病院 摂食・嚥下障害看護 認定看護師 山下 里美氏 実技「明日から使える調理形態の工夫」 講師 同病院 管理栄養士 濱田 真実氏	神経難病患者 家族、医療・介護・福祉関連職員	37人

ウ 訪問相談・指導事業

訪問	面接	電話等
46人(延べ21人)	153人	574人

エ 患者・家族会への支援状況

モンブラン（筋萎縮性側索硬化症）		さくらの会（パーキンソン病）	
回数	人数	回数	人数
6回	51人	11回	327人

オ 難病対策地域協議会の設置

日時	場所	内容	参加者	人数
H28.6.10	鴻巣保健所	連絡会議「在宅での医療機器を使っている方々への支援体制に関する会議」 情報交換 ・避難行動要支援者名簿の作成状況について ・災害時医療機器使用者リストの更新について 事例紹介及び意見交換 ・人工呼吸器を使用する在宅療養者の現状について～筋萎縮性側索硬化症の患者さんの実際を通じて～	医療・介護・福祉関連市町担当者	15人

6 石綿健康被害対策

石綿健康被害救済法に基づく申請や請求の受付を実施している。その他、石綿に係る相談にも対応している。平成28年度は申請等受付が2件、石綿に係る相談が8件あった。

7 原子爆弾被爆者対策

各種届出・申請件数・・・計87件 (件)

申請等内容内訳	件数
介護手当支給申請	0
健康管理手当認定申請	2
訪問介護利用被爆者助成受給資格認定申請	1
医療特別手当健康状況届	0
一般医療費支給申請	11
死亡・葬祭料支給申請	2
被爆者二世手帳交付申請	1
被爆者二世手帳再交付申請	1
被爆者二世健康手帳記載事項変更届	2
被爆者健康手帳記載事項変更届	2
被爆者健康手帳再交付申請	1
原爆被爆者一般疾病医療機関指定申請	5
原爆被爆者一般疾病医療機関変更届	1
原爆被爆者一般疾病医療機関指定書再交付申請	1
交通手当	1
介護保険利用被爆者助成支給申請	56

8 精神保健福祉対策

(1) 相談実施状況 (訪問・面接・電話およびメール)

面接		訪問		電話およびメール
実人数	延人数	実人数	延人数	延人数
114	151	76	193	1583

(2) 精神保健福祉法に基づく申請および通報について

ア 申請および通報の受理状況 ※精神科救急情報センター対応含む

	受理総数	内訳					対応		
		22条	23条	24条	25条	26条	診察不要	措置入院	措置不要
件数	106	0	88	5	0	13	14	53	39

イ 措置入院者の管内市町村別内訳 (件)

鴻巣市	上尾市	桶川市	北本市	伊奈町	その他	合計
5	25	11	2	4	6	53

ウ 措置解除手続 (件)

昨年度以前の措置入院者	今年度中の措置入院者	合計
3	38	41

エ 措置解除前面接対応 (件)

実施	未実施	合計
39	2	41

オ 措置入院者の移管 ※当所への移管は事務連絡があったもののみ

当所からの移管		当所への移管	
県域	県域外 (さいたま市含む)	県域	県域外 (さいたま市含む)
2	4	0	2

(3) 精神科医師による相談

ア 精神保健相談 (毎月第3木曜)

内容	回数	詳細
医師による相談	7	面接および処遇検討

イ 精神保健福祉センター技術協力医による相談 (毎月1回)

内容	回数	詳細
ケース同行訪問	1	
所内カンファレンス	10	措置フォローレビュー 延べ76件
地域カンファレンス	1	鴻巣市吹上保健センター事例

(4) 市町および関係団体支援状況

ア 市町

会議名等	内容
鴻巣・北本地域自立支援協議会	本会議委員、部会委員
上尾・伊奈地域自立支援協議会	協議会委員、部会委員
桶川市地域自立支援協議会	代表者委員
鴻巣市保健センター事例検討会	オブザーバー

イ その他

会議名等	内容
AA北部セミナー	講師
薬物依存回復セミナー	講師
埼玉県県央保健医療圏域内 認知症医療介護等広域連携体制構築検討委員会	検討委員

(5) 社会適応訓練事業

登録事業所：6か所 利用者：0人

(6) 地域精神保健推進事業

	実施日	内 容	対 象	参加者数
会議	H28. 5. 27	市町精神保健福祉担当者会議	管内4市1町	19人
会議	H29. 1. 13	保健所南部ブロック会議	川口保健所(事務局) さいたま市保健所 当所	7人
研修会	H28. 11. 8	「高齢者と問題飲酒 ～孤立しないために～」 ・講師：埼玉県立大学看護学科 准教授 吉岡幸子氏 ・グループワークコーディネーター 済生会鴻巣病院相談室 香田綾氏	管内市町 高齢介護課職員 地域包括支援 センター職員	19人
研修会	H29. 3. 9	「精神障害者の地域包括ケア」 ・講師：菊池臨床心理オフィス 臨床心理士 菊池礼子氏 ・事例提供者：鴻巣地域包括支援 センター 北村大輔氏	管内居宅介護 事業所職員	30人

(7) 地域移行支援事業

	実施日	内 容	対 象	参加者数
会議	H28. 12. 1	精神障害者地域移行支援事業連絡協議会	管内市町保健・福祉 部門職員、管内相談 支援事業所職員、管 内精神科病院職員	22人
研修	H28. 12. 1	精神障害者地域移行支援事業研修会	管内市町保健・福祉 部門職員、管内相談 支援事業所職員、管 内精神科病院職員	49人

(8) 職員配置状況

担当部長(保健師★)、主任2名(精神保健福祉相談員)、技師1名(保健師★) ★母子担当兼務

9 感染症対策

(1) 結核対策

ア 管内市町別結核患者登録数

平成28年新登録患者数

平成28年1月1日～12月31日

	活動性結核								(別掲) 潜在性結核感染症
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性	
		総数	喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性	菌陰性・その他			
総数	初回治療		再治療						
総数	56	43	21	20	1	15	7	13	23
鴻巣市	16	12	8	7	1	2	2	4	8
上尾市	21	16	6	6	0	7	3	5	10
桶川市	6	4	3	3	0	1	0	2	2
北本市	7	6	1	1	0	4	1	1	1
伊奈町	6	5	3	3	0	1	1	1	2

平成28年末現在登録者数

平成28年12月31日現在

	総数	活動性結核									不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症 (別掲)	
		総数	肺結核活動性						肺外結核活動性	治療中			観望中	
			総数	喀痰塗抹陽性		登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性・その他							
				総数	初回治療			再治療						
総数	140	43	37	19	18	1	12	6	6	88	9	21	73	
鴻巣市	33	12	10	6	5	1	2	2	2	17	4	9	14	
上尾市	67	18	15	7	7	0	6	2	3	45	4	9	36	
桶川市	16	3	2	2	2	0	0	0	1	12	1	1	10	
北本市	13	5	5	1	1	0	3	1	0	8	0	1	9	
伊奈町	11	5	5	3	3	0	1	1	0	6	0	1	4	

イ 結核定期健康診断実施状況

(人)

	事業所	学校長	施設の長	市町村長			
				乳児		その他	
				6ヶ月未満	1歳未満		
間接撮影者数	1,815	3,692	335	—	—	21,103	
直接撮影者数	5,484	1,532	1,621	—	—	12,989	
喀痰検査者数	12	0	0	—	—	96	
被発見者数	結核患者	0	0	0	—	—	0
	発病の恐れありと診断された者	0	0	0	—	—	0

ウ 感染症診査協議会

感染症法第18条による就業制限及び第19条による入院勧告、第20条による入院期間の延長並びに第37条の2による結核医療について診査を行うため、委員4人が委嘱され月2回開催している。

諮問件数	・就業制限（18条）	26件
	・入院勧告（19条、20条1項、20条4項）	73件
	・公費負担（37条の2）	125件

エ 訪問・電話相談等実施状況 (件)

訪問		面接	電話相談	文書連絡	延合計
実件数	延件数	延件数	延件数		
384	528	260	945	892	2,625

オ 結核接触者健診

(ア) 接触者健診に関する施設等への調査

結核患者の発注に伴い、結核感染の拡大を最小限にとどめ発病を予防することを目的に、感染症法第17条に基づく接触者健診の必要性を判断するための調査を22施設に対し延べ22回実施した。

(イ) 接触者健診に関する所内検討会議

上記調査に基づき、施設等に関わる接触者健診についての所内検討会議を、初発患者23事例に関して実施し、接触者健診の適切な時期・内容・対象者について検討した。

(ウ) 接触者健診の実績 (人)

対象者 延べ人数	受診者 延べ 人数	接触者健診受診方法別内訳(検査方法延べ数)			結果
		保健所で受診	委託医療機関で 受診 ※1	その他自己健診 ※2	
536	535	525	10	0	結核発病 0
		胸部XP 68	胸部XP 10	胸部XP 0	潜在性結核 25
		QFT 450	QFT 2	QFT 0	
		T-SPOT 48	ツ反 0	ツ反 0	
		ツ反 6			

※1 保健所と委託契約を交わした医療機関

※2 かかりつけ医への受診・学校健診・職場健診

(エ) 接触者健診を実施した施設の内訳

近年、接触者健診の対象となる医療機関や介護保険サービス事業所が増加している。

当保健所管内において、平成28年度に結核接触者健診を実施した施設の内訳は次のとおりである。

結核接触者健診を実施した施設	数
医療機関	10
介護保険関係施設	10
一般企業	4
その他	2

(オ) 接触者健診対象者への出張説明会及び健康教育の実施

接触者健診対象者が、結核についての正しい知識を得て不安の軽減が図られることを目的として、保健所職員が当該健診対象施設に出向き、説明会を延べ5回、延べ107人に対し実施した。

カ 管理検診

平成28年度における管理検診実施状況は下記のとおりである

(人)

対象者 実人数	受診者 実人数	管理検診受診方法別内訳			結果
		保健所で受診	委託医療機関 で受診 ※1	その他自己 健診 ※2	
201	196	19	17	191	再発者なし

※1 保健所と委託契約を交わした医療機関

※2 かかりつけ医への受診・学校健診・職場健診

キ DOTSカンファレンス

埼玉県DOTS事業実施要領に基づき、治療開始から治療終了まで、訪問・面接等で服薬支援を行った。また、支援のランクを決定するために、所内DOTSカンファレンスを開催しアセスメントを行った。

平成28年度対象者数76人

開催回数5回

支援区分 対象者の区分	総合判定A (毎日)	総合判定B (週1回程度)	総合判定C (月1回)	計
新規喀痰塗抹陽性	1	5	18	24
再発事例	0	1	0	1
L T B I	0	1	25	26
その他 (塗抹陰性)	1	3	32	36
計	2	10	75	87

ク DOTSナースによる服薬支援

平成27年9月から、結核患者宅を服薬支援のための訪問等を行っている。

平成28年度は、鴻巣保健所、熊谷保健所、東松山保健所、本庄保健所の合計4保健所管内に於いて支援を行なった。家庭訪問数の実績は、実56件、延べ276件に対し支援を提供した。

ケ 結核菌分子疫学調査 (平成28年度新規事業)

平成28年度において39件検査依頼を行った。

(2) その他の感染症対策

ア 感染症届出数

一類～五類の感染症については、診断をした医師からの届出が規定されており、疾病により必要な防疫措置を行った。

(件)

	疾 病	届出数
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5
四類感染症	A型肝炎	1
	デング熱	1
	レジオネラ症	4
五類感染症	アメーバ赤痢	1
	急性脳炎	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2
	後天性免疫不全症候群	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	14
	梅毒	5
麻しん	1	
合 計		39

イ 検便実施数

平成28年度における行政検便検査依頼件数は下記のとおりである。

対象者数：17名（患者4名、接触者13名）

検 体 数：19件

ウ 患者・接触者調査

疾 病	件 数
腸管出血性大腸菌感染症	8
腸チフス	1
レジオネラ症	3
デング熱	1
麻しん	3
合 計	16

エ 感染症サーベイランス事業

感染症の発生動向把握のため、定点の医療機関からの患者発生報告数を感染症情報センターへ報告し、センターからの還元情報を関係機関へ通知した。

平成28年1月1日～12月31日

報 告 回 数		64回
定点数	内 科	7件
	小児科	12件
	眼 科	3件
	S T D	4件
合 計		26件

*病原体定点は6医療機関（小児科・内科）

病原体定点検査結果（6医療機関（小児科・内科））

検体	内容	件数
インフルエンザ	A香港型	19
	2009年型	1
	陰性	2
咽頭結膜熱	コクサッキーウイルスA4	1
	コクサッキーウイルスA5	1
	陰性	1
ヘルパンギーナ	陰性	1
合計		26

オ 社会福祉施設等からの集団感染報告

分類	種別	報告施設数
インフルエンザ	児童・婦人関係施設	4
	介護老人福祉関係施設	18
感染性胃腸炎	児童・婦人関係施設	4
	介護老人福祉関係施設	5
起因菌不明	介護老人保健施設	2

カ インフルエンザ施設別発生状況（H28.9.5～H29.6.4）
平成28年度シーズンにおける報告件数は下記のとおりである。

	休校数	学年閉鎖校数	学級閉鎖校数	在籍者数	患者数	欠席者数
保育園						
幼稚園	1	2	18	617	182	152
小学校		22	81	3,674	1,516	1,222
中学校		2	20	1,184	412	325
高校			4	141	53	38
計	1	26	123	5,616	2,163	1,737

キ 感染症対策研修会

集団生活する場での、感染拡大を防止するため、管内の感染管理認定看護師と連携し、施設関係者向け研修会を実施した

日時	対象施設	参加人数
平成28年 6月29日（水）	高齢者入所施設	70
平成28年10月31日（月）	高齢者通所施設 障がい者入通所施設	54

講師：医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 荒井千恵子氏・白井由加里氏
北里大学メディカルセンター 梶ヶ谷直子氏

(3) HIV・性感染症等対策

ア HIV・性感染症等に関する相談・検査数 (人)

		件数	陽性数
相談数 (延・電話相談含む)		338	
検査来所者			
		男	112
		女	41
検査数	HIV (即日再掲)	男	108 (47)
		女	39 (15)
	梅毒	男	63
		女	24
	クラミジア	男	41
		女	12
	B型肝炎	男	61
		女	25
	C型肝炎	男	61
		女	25

イ 思春期性感染症予防研修会

実施日	内 容	参加者
平成29年2月17日	講義・グループセッション 「性感染症とMSMの現状～性の多様性について～」 講師 特定非営利活動法人 akta 理事長 岩橋 恒太 氏 センター長 荒木 順子 氏 MSM当事者	26人

(4) 肝炎対策

ア 肝炎治療特別促進事業

肝炎治療受給者証交付申請件数 (件)

インターフェロン治療		インターフェロンフリー治療	3剤併用	核酸アナログ製剤治療		期間延長	総数
新規	2回目			新規	更新		
1	0	149	0	30	188	0	368

【参考】 インターフェロンフリー治療医療費助成制度の経過

- 平成26年 9月：ダクラタスビル及びアスナプレビル併用療法の助成開始
- 平成27年 6月：ソホスビル及びリバビリン併用療法の助成開始
- 平成27年 9月：レジパスビル／ソホスビル配合錠の助成開始
- 平成27年11月：オムビタスビル水和物／パリタプレビル水和物／リトナビル配合剤の助成開始
- 平成28年 9月：セログループ2のC型慢性肝炎に対するオムビタスビル水和物／パリタプレビル水和物／リトナビル配合錠及びリバビリン併用療法助成開始
- 平成28年11月：エルバスビル／グラゾプレビル水和物併用療法の助成開始
- 平成29年 2月：ダクラタスビル塩酸塩／アスナプレビル／ベクラブビル塩酸塩配合錠助成開始
- 平成29年 3月：セログループ1又はセログループ2のいずれにも該当しない患者に対するソホスビル／リバビリン併用療法の助成開始

【参考】 核酸アナログ製剤治療助成制度の経過

- 平成28年 4月：更新申請において診断書以外の資料の添付が可能となる
- 平成29年 2月：テノホビル アラフェナミドフマル酸塩錠の助成開始

イ ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業

①初回精密検査費用助成

肝炎ウイルス検査で陽性と判定された後、初めて医療機関で精密検査を受けた際の検査費の自己負担分の助成：平成28年度実績 7件

②肝炎ウイルスの感染を原因とする慢性肝炎患者・肝硬変患者・肝がん患者が定期的に受ける検査費用の助成：平成28年度実績 14件

(5) 新型インフルエンザ対策事業

ア 新型インフルエンザ等対応

実施日	内容
平成28年5月	管内市町、専用外来の連絡網の更新
平成28年7月22日	患者専用車配置訓練
平成28年10月26日	特措法に基づく特定接種の通知（管内非医師会医療機関、非薬剤師会薬局、助産所計126ヶ所）
平成28年12月13日	情報伝達訓練の実施
平成29年2月20日	必要物品の確認・整備

イ 新型インフルエンザ等対策研修会

実施日	内容	参加者
平成28年10月24日	講演「医療機関における感染症の予防と対策～患者さんとあなた自身を守るために～」 講師 防衛医科大学病院 医療安全担当副院長 教授 川名 明彦 先生	85人

